

本栖湖産アユの親魚導入に向けた採捕結果

とりまとめ：芦澤晃彦

本栖湖では1931年に琵琶湖産アユが移植され¹⁾、現在に至るまで生息が確認されている。山梨県水産技術センターではアユの種苗生産を行っており、種苗特性の向上を目的とした本栖湖産アユの親魚導入に向けて2021年に採捕を行ったので、その結果を報告する。

結果の概要

アユの採捕は2021年6月から8月にかけて行った。定置網、ビンドウ、投網、地引き網及び釣りによる方法で実施した。

定置網

採捕には袋網部が直径0.6m×長さ3m(5mm目合)、袖部が高さ1m×長さ6m(7mm目合)、仕切り網部が高さ1.2m×長さ10m(7mm目合)の定置網を用いた。定置網は観光船乗り場から西へ約70mの場所に設置した。設置した場所の水深は約1mで、岸から約5m地点から沖合に向けて設置した。なお、設置前に潜水目視により多数のアユの群れが設置場所に生息していることを確認した。

採捕は6月21日14:00から6月22日14:00まで及び7月5日15:00から7月6日11:00までの2回行った。採捕結果を表1に示した。採捕されたアユは4尾のみであった。

表1 定置網による採捕状況

採捕日	アユ	ウグイ	オイカワ	ヌマチチブ	ナマズ	フナ類	エビ類
6月21日14:00から 6月22日14:00まで	3	2	1	5			多数
7月5日15:00から 7月6日11:00まで	1				4	1	2

ビンドウ

採捕には長さ26cm、直径15cm、魚入り口直径3cmのビンドウを用いた(タイビン特大、ウメズ)。餌はアユ用飼料(鮎スーパーゴールド0号、日清丸紅飼料株式会社)、サナギ粉(さなぎ粉徳用、マルキュー株式会社)、しらす干し、にぼし粉(だしはこれ、株式会社サカモト)及び小麦粉(日清フラワー、株式会社日清製粉ウェルナ)を用いた。ビンドウは定置網を設置した周辺の水深約1mの場所に設置した。

採捕は6月17日12:00から6月17日14:30まで、6月21日14:15から6月22日11:15まで及び7月5日15:15から7月6日11:15までの3回行った。採捕結果を表2に示した。アユは採捕できなかった。

表2 ビンドウによる採捕状況

採捕日	餌	設置 個数	ウ グ イ	オ イ カ ワ	ヌ マ チ チ ブ	エ ビ 類
6月17日12:00から	アユ飼料+さなぎ粉	2	46	12		
6月17日14:30まで	しらす干し+にぼし粉+小麦粉	2			3	
6月21日14:15から	しらす干し+にぼし粉	4				17
6月22日11:15まで						
7月5日15:15から	アユ飼料+しらす干し+にぼし粉	2			4	3
7月6日11:15まで	しらす干し+にぼし粉	2				6

投網

採捕には21節1200目の投網を用いた。採捕は観光船乗り場周辺及び本栖湖スポーツセンター周辺の浜で行った。岸際及び浅瀬を歩きながら目視でアユの群れを確認し、群れに向かって投網を投げて捕獲した。

採捕は6月21日、6月22日及び7月13日の3回行った。採捕結果を表3に示した。アユは採捕できたがスレなどにより、弱ってしまうアユが多数いた。

表3 投網による採捕状況

採捕日	場所	アユ採捕数	CPUE (尾/人/時間)
6月21日	観光船乗り場周辺	2	4
	本栖湖スポーツセンター周辺	35	70
6月22日	観光船乗り場周辺	94	47
7月13日	観光船乗り場周辺	6	6
	本栖湖スポーツセンター周辺	1	2

地引き網

採捕には袖部が高さ1m×長さ10m(30節)の袋付きの地引き網を用いた。採捕は観光船乗り場の東側で行った。潜水目視でアユの群れを確認しながら網を投入して捕獲を行った。

採捕は7月13日に行い、地引き網を3回実施した。採捕結果を表4に示した。アユは採捕できなかった。地引き網を行った場所には10cm前後の石が多数あり、網を引く際に網の下に隙間ができてしまい、そこからアユが逃げる様子が確認された。

表4 地引き網による採捕状況

回次	ウグイ	オイカワ	ヌマチチブ	ヒメマス稚魚	モロコ類	コイ科稚魚
1回目	13		1		2	25
2回目	18	2		1		3
3回目	13					

釣り

採捕には延べ竿と上部ラセンサビキ仕掛けを用いた。餌は市販の小鮎釣り用の餌（生しらすダンゴ（マルハ）、特選小鮎マキエ（マルキュー株式会社）、こませちゃん（春瀬工藝株式会社））を使用した。餌をラセンに付けて同じポイントに何度も振り込みアユを寄せながら釣りを行った。釣ったアユを痛めないよう、市販の針外し（おさかな外し、株式会社がまかつ）を用いて極力アユに触れないよう努めた。採捕は観光船乗り場の西側の浜で行った。

採捕は8月6日、8月19日及び8月20日の3回行った。採捕結果を表5に示した。アユの群れが寄れば、多数のアユを採捕することができた。

表5 釣りによる採捕状況

採捕日	採捕人数	アユ採捕数	CPUE（尾/人/時間）
8月6日	6	127	10.5
8月19日	4	280	20.0
8月20日	4	747	62.2

文献

- 1) 加福竹一郎・米沢邦男・吉先方（1952）：本栖湖産コアユの産卵条件．淡水区水産研究所研究資料, 8, 1-17.